

平成19年度西部緑地公園の管理状況

施設所管課	土木部 公園緑地課
指定管理者	(財)石川県民ふれあい公社 代表者 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・職員に対し、接客・電話対応で不快感を与えないよう徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・取り組み無し
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・バッテリーカーの設置、コいのえさ自販機設置 施設の情報提供、広報、広告 ・取り組み無し 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・野球場、陸上競技場、産業展示館などの公園内各施設と連携のもと円滑に管理運営されている。
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 該当なし
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：屋外トイレ、巡回：駐車場を2回/日 保守点検：浄化槽、消雪設備 小規模修繕：給排水設備、外灯、フェンスほか
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急連絡体制の徹底 個人情報の管理状況：個人情報保護規定に基づき厳重に管理

(2) 施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H18年度 (参考)	H19年度	前年度比	増減理由
グラウンド利用者(人)	6,000	4,800	80%	サーカス公演のため、利用できない期間が2ヶ月以上あった。

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	37,918	人件費	4,306
利用料収入		光熱水費	1,511
		修繕費	2,547
		植栽管理費	23,452
		その他	5,050
合計	37,918	合計	36,866
収支差額	1,052		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
実施していない		

事故、故障等

年月	内容	対応
該当なし		

その他報告事項など

その他報告事項など

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	・園内各種施設の利用者からの多種多様の問い合わせや意見要望に対し、適切に対応している。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	・緑地管理については、業務委託を中心に適切に実施されている。 ・繁茂した樹木の間引きを積極的に実施。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められているが、大規模なイベントや競技会が開催される際には、大勢の人が園内にいるため、実際の非常時に対応できる避難、防災訓練等を各施設合同で行うことが必要。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	A	・利用者の意見、苦情に対しては、迅速にかつ誠実に対応している。また過去の経験を生かし事前に対応することを心がけている。(新入学期の車道沿い通学路の灌木刈込み、お盆シーズンの園内墓地周辺の樹木剪定や清掃など)
総合評価	B	・産業展示館や野球場などの施設を有しているため、集客増を目的とした自主事業が困難である中、バッテリーカーの設置など、子ども連れに配慮した運営がなされている。

評価基準

- A(優): 仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

<p>1 園内に各種の大規模施設を有し、大きなイベントや試合の開催時には、多くの車両や歩行者で混雑するため、これらの安全確保に、より一層留意すること。</p> <p>2 公園利用者の要望や苦情をアンケート等により積極的に聴取し、利用者へのサービス向上に向けて更に意欲的に取り組むこと。</p>
--